

## 夢のかけ橋 ～奨学金について～

高校および大学進学にあたり、進学意欲を有しながら経済的な理由により、就学を断念せざるをえないような状況をつくらないために、さまざまな奨学金制度があります。

主な補助金、奨学金制度の一部を次に紹介します。

### ●高等学校等就学支援金（国の制度、返済不要）

年収およそ910万円未満の世帯に対し、「就学支援金」が支給されます。これにより、国公立高校生は実質授業料無償となります。

### ●高等学校等授業料支援補助金（府の制度、返済不要）

私立高校生などに対する府の授業料支援補助金です。年収目安590万円未満世帯は無償、年収目安590万円以上800万円未満世帯は、子ども一人世帯で年額20万円負担、子ども二人世帯で10万円負担となるなど、世帯収入と子どもの人数によって補助金の交付額が変わります。

※詳しくは、府ウェブサイト[<https://www.pref.osaka.lg.jp/shigaku/shigakumushouka/index.html>]をご覧ください。

## 明日をめぐって

### ●府育英会奨学資金・入学時増額奨学資金（返済必要）

中学3年生を対象に9月初旬から10月上旬にかけて、奨学資金・入学時増額奨学資金などに関する予約申請が始まります。申請は在籍する中学校を通して行います。

#### ■入学時増額奨学資金

進学する学校	貸付限度額
国公立学校	5万円まで
私立学校	25万円まで

#### ■奨学資金

年収の目安	貸付限度額
国公立・私立学校とも800万円未満	授業料実質負担額+その他教育費（上限10万円）の範囲内で希望する額
私立学校のみ800万円以上1000万円未満	授業料の実質負担額の範囲内で希望する額（上限24万円）

### ●日本学生支援機構奨学金（貸与型は要返済）

「給付型」と「貸与型」の2種類があります。希望する条件によっては、年度の早い時期に締め切りがあります。

※詳しくは、在籍する高等学校にお問い合わせいただくか、(独)日本学生支援機構ホームページ[<https://www.jasso.go.jp/>]をご覧ください。

教育指導室（内線363、364）

## わたしのまちの文化財 巡見使の献立

江戸時代、幕府は將軍の代替わりごとに地方の状況を視察するために各地へ巡見使を派遣しました。巡見使は3人一組で派遣されましたが、部下や御供など随行を含めると総勢100人を超えました。

巡見使の行程とその対応については前もって村々に細かな指示が出され、地元では人足や馬の割り当て、道筋の清掃や必要な物資の手配などに追われました。巡見使の休憩や宿泊には村内で裕福な家が割り当てられ、湯殿（風呂）や雪隠（トイレ）が増設されました。

天保9年（1838年）、徳川家慶の12代將軍就任に伴う巡見使が派遣されました。巡見使の一行が宿泊した富田林村の家には、巡見使にかかる通達の他、普請の記録や購入した品々、巡見使に提供した献立などの記録が残されています。

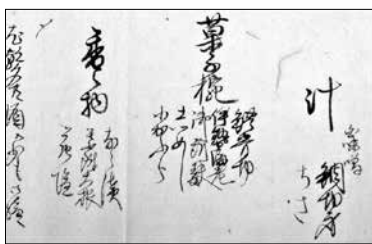
この時の夕飯には味噌汁（鰻のすり身・じゆんさい）、菓子椀（煮梅・鱒一分塩・松菜）、焼物（鯛の切身の幽庵焼）、香物（白瓜の奈良漬・

茄子の浅漬・大根）が並びました。ところが巡見使たちは焼物には手をつけません。それもそのはず、巡見使の食事は一汁一菜と決められており、酒を含め過剰な接待は禁じられていたからです。すぐさま焼物を除き菓子椀と汁のみにしたところお上りになった、と記されています。

朝食には赤味噌の汁（松露・水前寺菜）、向付（鰯の洗い・胡瓜・から茸）、平椀（根辛・しめじ・御所麩・生貝・切身）、香物（奈良漬・胡瓜・大根）が並ぶ予定でしたが、夕食の一件があったため、味噌汁、菓子椀、香物だけにしたところ、大いに気に入って特別に挨拶があったそうです。

もつとも、一汁一菜といえども白味噌の汁は鯛の切身・ちしや、菓子椀は鰻・伊勢海老・御所麩・しめじ・かぶら、という庶民とは縁遠いものでした。

文化財課（内線432）



富田林村に宿泊した巡見使の朝食

# わが家のアイドル



大坂 一琉ちゃん(7歳)  
琉人ちゃん(1歳1カ月)  
2022年は、笑顔溢れる年になりますように



東 佳穂ちゃん(7歳)  
佳澄ちゃん(1カ月)  
早く一緒に遊びたいね☆



長澤 侑里ちゃん(1歳1カ月)  
どうぞ!が出来ようになり  
ました☆



重井 瑠璃ちゃん(2歳)  
珂維ちゃん(0カ月)  
姉弟仲良く、すくすく大き  
くなってね♡

## みんなの広場

宛先

住所・氏名(ふりがな)・電話番号  
584-8511  
富田林市役所都市魅力課  
常盤町1番1号

わが家のアイドル(対象年齢は4歳未満、兄弟・姉妹と一緒に写っている写真でも可)は、写真に、メッセージ(20字程度)を添え、住所、保護者と子どもの名前(ふりがな)、撮影時の年齢(月齢)、電話番号を記入し、

封書で上記の宛先まで応募してください。  
また、市ウェブサイトからもご応募いただけます。  
なお、今応募した場合、掲載は約6カ月後になります。



100歳おめでとう  
ございます!



今西 イソエさん

## 短歌

地層 島村 さゆり選

秀歌Ⅱ  
故郷の学舎すでに様変わり昔を語るは銀杏の老樹  
《選評》少子化の時代、廃校になる学校が多くなった昨今、いろんな時代の学生の様子、学校の状況をつぶさに見守ってきたのは銀杏の老樹だろう。特に故郷に想いの深い作者のなげきが読み手によく伝わる。

真東に向きで墓標は光り建つ丘の綿雲ひとつ動かず  
三回のワクチン済ませ集う友飲み食べ喋り露天に遊ぶ  
お不動のホテルの風呂より我が方を望めば動く豆粒は妻?  
米寿すぎわれ健やかに老友と負けず嫌いの球を打ちたり  
売り家の庭に梅咲き桃が咲きしだれ紅梅塀よりこぼる  
先がけて春を告げるふきのとう早緑さえて夕餉の卓に  
吊り草の輪からぬけ出したちまちにおぼろとなりぬ春の夕陽は  
選者詠

※6月号は「俳句」を掲載します(なお、応募は4月30日で締め切りました)。

川柳・短歌・俳句は、それぞれ別のはがきで応募してください(1人各5点まで)。市内在住の人で未発表のものに限ります。作品の漢字や氏名には必ずフリガナをつけてください。  
7月号の「川柳」(宿題「芝居」は5月31日)、8月号の「短歌」は6月30日(木)、9月号の「俳句」は7月31日(日)までに応募(いずれも必着)してください。宛先は上記をご覧ください。